

平成3年7月6日

まだまだ「もったいない」

豊島区リサイクルフェア開催

6日、午前10時から午後3時まで、豊島区民センター1階展示場(東池袋1-20)と、隣接する区立中池袋公園において、豊島区リサイクルフェアが開かれた。

このリサイクルフェアは「捨てればゴミ、分ければ資源」を合言葉に、現在危機的な状況にあるゴミ問題を、資源の有効活用の側面から改めて見直すことを目的に初めて開催されたもの。豊島区と東京都豊島清掃事務所及び豊島清掃協力会の共催。

メイン会場である区民センター展示場では、家庭内に眠っている贈答品などの不用品バザーや古着のリフォーム製品展などもなかなかの人気を集めていたが、何と言っても最高の盛り上がりを見せたのは、フェア閉幕に近づく午後2時30分から行われた「まだまだもったいない」コーナー大抽選会だった。

この「まだまだもったいない」コーナーは、豊島清掃事務所が回収した粗大ゴミの中から、和だんす・洋服だんす・洗濯機・冷蔵庫・テレビ・ステレオなど、まだそのまま使えるもの、ほんの少し手を掛ければ充分利用できるもの約60点を展示した上、午後2時までに希望製品を申し込んだ来場者(区内在住者のみ)に抽選の上、無料でプレゼントするという今回の目玉イベント。(運搬については豊島清掃事務所が配達する)

ご夫婦で来場し、33倍の競争率のなかから運良く洋服ダンスを手にした同区目白4丁目在住の松江仁哉さん(63歳・無職)は「こんな立派なダンスが、とてもゴミだなんて思えない。我々の年代は、使えるものはいつまでも大事に使っていきたくて考えてしまうのですが」と、喜びとともに複雑な心境を語っていた。

また、あいにくの雨にもかかわらず中池袋公園会場では、家庭内でゴミとして捨てられていたものが資源として活用できることを身をもって知ってもらおうと用意された「牛乳パックを利用した葉書作りコーナー」が人気を呼んでいた。ほかに古本の無料配布なども行なわれ、両会場は終日賑わいを見せていた。

問合せ 区民部管理課 地域活動係